

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価計画

達成度（評価）

A：十分達成できている

B：おおむね達成できている

C : やや不十分である

D : 不十分である

学校名	佐賀市立春日小学校		C：やや不十分である D：不十分である
1 前年度 評価結果の概要	・月1回の学年主任会を通して、各学年で取り組むことを明確にし実践につなげることができてきたため、継続していきたい。 ・困り感をもっている児童に向き合い、チームで対応しながら、丁寧に指導していく。		
2 学校教育目標	自分から かんがえ すなおに がんばる 春日っ子の育成 ～温もり～		
3 本年度の重点目標	① できる・わかる・参加する授業づくりに努め、よく聞き、しっかり考える児童の育成を目指す。 ② 優しい言葉遣いで誰とでも仲よくできる、温もりのある学級・学校づくりを目指す。 ③ 家庭・地域との連携を図り、安全に安心して生き生きと活動できる学校づくりを進める。		

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者	
(1) 共通評価項目											
重点取組				中間評価		最終評価		学校関係者評価			
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・校内研究の視点に書く活動を取り入れ、書く活動における取り組みの促進を図る。		・		・		・	・学力向上対策CO ・学び部	
	○家庭学習の定着	○「春日っこ振り返り週間」において、家庭学習が「できる・だいたいできる」と回答した児童・保護者80%以上	・学力の状況や学校での取組の様子を積極的に情報提供したり、家庭学習状況調査「春日っこ振り返り週間」を実施したりすることにより、児童と保護者の学力向上に対する意識を向上させ家庭学習の定着を図っていく。 ・家庭学習コーナーを設置し、自主学習の参考例を情報提供したりすることにより自主学習の活性化を図る。		・		・		・	・学力向上対策CO ・学び部	
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「挨拶・返事・掃除・スリッパ並べがすんでできる」と回答した児童80%以上、「挨拶・返事ができる」と回答した保護者90%以上	・生徒指導部や児童会活動と連携した挨拶・返事・掃除・スリッパ並べの重点週間の設定等に、全校で取り組んでいく。		・		・		・	・生徒指導主任 ・心部	
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○「いじめをされたり見たりした時に、周りの人にすぐ相談できる」と回答した児童80%以上、「学校生活を楽しんでいる・いじめ防止への取組がある」と回答した保護者90%以上	・「いじめ・いのちを考える日」や縦割り活動での取組の充実を図る。 ・ふれあい道徳を中心とした道徳教育や学級経営に関する研修の充実を図る。 ・「Qテスト」と「スッカリにこにこアンケート」、生徒指導・教育相談会の実施により、児童理解に努めると同時に、気になる児童を早期発見し、全職員で適切な支援を行う。		・		・		・	・人権・同和教育担当 ・道徳教育推進担当 ・生徒指導主任 ・心部	
	○特別支援教育の充実	○「支援を要する児童について共通理解を図り、職員がチームとなって、より良い支援のあり方を探っている」と回答した教師90%以上	・教育相談会を月1回行うことで、児童の実態や支援のあり方・支援体制に対する共通理解を図る。		・		・		・	・特別支援CO ・教育相談担当 ・心部	
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」	○「早寝、早起き、朝ごはん」ができていると回答した児童・保護者80%以上	・「春日っ子ふり回りカード」を集計・分析し、保健便り等で家庭に啓発を行い、連携して目標達成を目指す。		・		・		・	・養護教諭 ・保健主事 ・栄養教諭 ・仲間部	
	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に食事は大切である」と回答する児童80%以上	・栄養教諭による食育に関する授業の実施 ・給食指導の共通理解と共通実践		・		・		・		
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	○運動が好きな児童の育成	○「運動が好き」と回答する児童80%以上	・全クラスでスポーツチャレンジに取り組む。		・		・		・	・体育主任 ・仲間部	
	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日の設定 ・月ごとの施設時間のアナウンスとその徹底 ・2学期制の導入		・		・		・	・管理職	
	○職員のやりがいが高まる業務改善案の策定と共通理解・共通実践	○「働きがいを感じる」について肯定的な回答をした職員80%以上	・業務改善アンケートの実施 ・学年主任会、専門部会等での検討とチーム意識の向上 ・職員会議、連絡会等での共通理解		・		・		・	・管理職	
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目											
重点取組				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
◎児童の自己有用感の向上	◎児童が、本校の一員として目標を持ち、その実現に向けて、意欲的に取り組もうとするための教育活動	◎「学校・学級の一員として役に立っている」について肯定的な回答をした児童80%以上	・学級目標の共通理解とその支援 ・各種体験活動における活動の見通しと学びの振り返り(児童一人一人の役割と承認)		・		・		・	教務主任 学年主任	
○開かれた学校づくり	○地域の方々と交流活動の充実	○「体験活動が楽しい・地域の方との交流は役に立つ」と回答する児童・保護者90%以上	・全学年で、地域の方からの協力を得た学習活動や交流体験活動を実施する。 ・特別非常勤講師等、地域の方の教育力を活用する。		・		・		・	主幹教諭	

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	---